

2月6日にトルコで大きな地震がありインフラや建物の倒壊など大きな被害があり、多くの人が亡くなられました。あらためてご冥福をお祈りいたします。一方、近年わが国でも、阪神や熊本、新潟、

## ナビゲーター

東北での震災などの大きな災害の被害も記憶にとどめられています。このような災害時また災害後の個々の心のケアや支援、組織の人間関係のケアや支援は会社や組織においてもコミュニケーションにおいても大変重要で、まさに産

# 産業コンサルティング理論と私の実践

業カウンセラーが求められているのです。また、災害ともいえる2020年の春から続いているコロナ禍では、社会構造の変化と共に、人と人とのコミュニケーションの希薄化を起こしたようです。

その代わり情報のグローバル化やSNSなどの利用率はより一層進み、個々の多様な価値観がより身近に理解されるようになってきました。企業や組織や大学、コミュニテ

## 産業コンサルティングの未来

イでもオンラインの会議やオンライン教育が一般化し、ネット社会で生き抜く個々人のスキルはすいぶん上がってきたように思います。それと共にあふれる情報を収集し、何が有用で何が無用かを整理し組み替え使いこなす能力、いわゆる情報リテラシーの向上が求められています。カウンセリングなど面談の現場においても、オンラインにおけるカウンセリングやSNSによ

るカウンセリングなどPCを使用した面談が増えてきています。いわゆるカウンセリングの多様化です。先日、放送局のニュースの特集や新聞で、グーグルやマイクロソフトがAIを利用した会話アプリを開発しリリースするとのことが報じられました。これからは人と人との対話だけでなく人と機械との対話の共存が増えていくことが予想できる時代になってきました。

# 多様化社会で広がる重要性

他方では情報社会に乗り損ねた人や、なるべく関わらないライフスタイルを持つて生活していく人も現れてくるでしょう。そのような多様化した社会では、いろんなことで悩んでいる人の話を聴き、思いを聴き、共に考え対応すること、問題解決を促し、個人が成長し自律につながっていくことで、働き生活するすべての人の支援をめざす産業カウンセリングの重要性はますます広がっていくでしょう。

【日本産業カウンセラー協会・中部支部支部長 北村孝基】

(火曜日掲載)

